令和７年９月

指導部だより（あったかハート推進週間の取組）

【温かな心の育成】

附属小学校では、子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。９月は、以下の内容で行いました。

月	期　　間	内　　容
９月	９/１（月）～５（金）	道徳科の授業　内容項目：友情、信頼（低学年） ：相互理解、寛容（中・高学年）

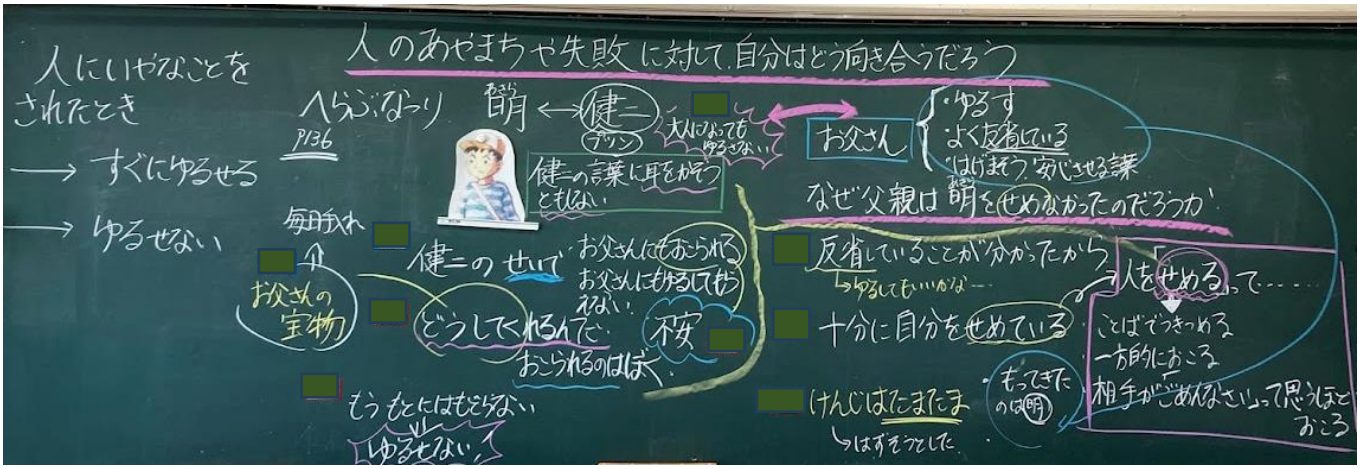
【4年生の授業】

４年生では、「へらぶなつり」という教材文を読んで、相手の気持ちを考えて行動することや、寛容な心で接することの大切さについて学習しました。

教材文では、主人公が父親から勝手に持ち出した「へらうき」を、友達に壊されたことに対して、怒りをあらわにします。しかし、父親は、無断で持ち出したことを許してくれます。そんな父親の姿に、主人公も考え方を改め、友達を許すことを決意するという内容です。

４年生では、以下のような考えが出ました。

- 私は「広い心」を大切にしていきたいです。なぜかというと、「へらぶなつり」のお話のような出来事があったとき、ずっといらいらしているのではなく、最後にはちゃんと許すことが大切だと思ったからです。
- 私は、失敗した人が主人公のように反省していたら、主人公のお父さんのように前向きな気持ちになれるような声をかけたいです。



〈4年1組で行った授業の板書〉

【各学年で行った授業後の子供の感想】

１年生：「二わの小とり」を読んで、自分のことも、相手のことも考えたいと思いました。自分のせいでしょんぼりしている人が、周りにいないか確かめたいです。

２年生：「なかなおりの『まほう』」を読んで、友達とけんかしたときのことを思い出しました。謝ると、もっと仲が深まりました。このことがきっかけで、謝ることは大事だと思いました。

３年生：「みんなの学級会」を読んで、譲り合いができる自分になりたいと思いました。相手の意見も聞ける人になりたいです。

５年生：「すれちがい」を読んで、お互いの心がすれ違わないように、一度落ち着いてじっくり考えてみるべきだと思いました。自分のことだけ考えていると苛立ってしまうので、落ち着いて客観的に見るようにした方がよいと思いました。

６年生：「心にふく風」を読んで、ちょっとした行動で相手を悲しませてしまうことがあるのだと思いました。でも、ちょっとした行動で相手がよい気持ちになることも分かりました。相手の気持ちをよく考えて行動したいです。

どの学年からも、「相手の立場や気持ちを理解する大切さ」について考えを深めた様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。